



今年も残すところわずかとなりました。2学期までを振り返って、今夏に大阪樟蔭女子大学の田中准教授をお迎えして、研修したことをご紹介します。当日、全校で「ポジティブ行動支援」について研修を行いました。各学部で小グループに分かれて、話し合いを重ねながら、適切な行動支援について学習を深めました。

## 研修の様子



ポジティブ行動支援(PBS)とは、当事者のポジティブな行動(本人のQOL向上や本人が価値あると考える成果に直結する行動)をポジティブに(罰的ではない肯定的、教育的、予防的な方法で)支援するための枠組みのことです。また、ポジティブ行動支援は個人の行動のみを標的とするのではなく、その周囲の人々、あるいは周囲の人々を取り巻く様々な状況も分析とアプローチの対象と捉え、持続的な成果を生み出すための仕組みづくりを目指します。(APBS ネットワーク HP より)」



研修では、前半に、「ポジティブ行動支援の基本」や「機能的アセスメント」について学びました。「機能的アセスメント」はどうやって行うのかについて、架空事例をもとに、少人数で話し合いを進めながら学びを深めることができました。



後半では、事例をもとに、実際に行動支援計画の作成に取り組みました。話し合いを進めながら学びを深めることで、教育活動に活かせる多くの視点を知ることにつながりました。